

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4570102840		
法人名	有限会社あおき		
事業所名	グループホームあおき園		
所在地	宮崎県宮崎市大島町南窪807番地 (電話) 0985-61-5558		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成21年10月16日	評価確定日	平成21年11月30日

【情報提供票より】 (平成21年8月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成17年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤7人, 非常勤2人, 常勤換算7.5人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,950 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (122,850 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,050 円		

(4) 利用者の概要(平成21年8月26日現在)

利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	1	要介護2	3
要介護3	4	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 81.7歳	最低 76歳	最高 87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	野崎東病院、宮崎生協病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

宮崎市の東部に位置し、木造の平屋建てで天井が高く、食堂、廊下、脱衣所に天窗があり、太陽の光を取り入れた明るい造りとなっている。また、玄関や廊下には油絵が飾られており、落ち着いたある和やかな雰囲気のホームである。家族は、来訪時に意見等を職員に伝え、物事が言いやすい雰囲気作りがおこなわれている。定例会では、職員がテーマを決めて、職場内研修で発表して自己研さんが行われ、サービスの質の向上に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の課題となった項目については、会議や申し送り等で検討し多くが改善できているが、これから取り組まなければならない課題もある。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者が作成し、一部の職員で検討し作り上げた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、積極的に意見等が出されている。出された意見等は、会議で検討し取り入れサービスの質の向上に努めている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者ごとに、毎日の記録や健康状態、職員採用など、毎月たよりを送り報告している。家族が来訪の際には意見等出しやすくなっている。意見等は、業務日誌に載せて会議で検討して反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、地域の行事や子供会の夏祭りなどに参加している。また、地域の子供達にボランティアで来てもらい踊りや歌などを披露してもらうなどの交流も行っている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとなり、昨年、全職員でホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について、管理者が会議等で話をしており、声かけや、日々の利用者のケアに理念が生かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域の行事や子供会の夏祭りなどに参加している。また、地域の子供達にボランティアで来てもらい、踊りや歌などを披露してもらうなどの交流も行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、管理者が作成し、一部の職員で検討し作り上げた。また、前回の外部評価については、会議や申し送り等で検討し改善できたもの、まだ、これから取り組まなければならないこともある。	○	自己評価について、意義やねらい等を説明し全職員で取組んでほしい。また、外部評価についても、会議等で全職員で話し合い改善計画を立て改善に結びつけてほしい。

宮崎県宮崎市 グループホームあおき園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2か月に1回開催しており、積極的に意見等が出されている。出された意見等は、会議で検討しサービスの向上に生かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者を毎月訪問し、ホームの運営状況や外部評価等について報告し連携に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、利用者ごとの毎日の記録や健康状態、職員の採用などの便りを送り報告している。来訪時には、出納簿も確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時など、意見等が出しやすいよう努めている。意見等は、会議で検討し反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は利用者へ伝えているが、伝えることで不穏になる方には言わないよう配慮している。新規採用者については、全員に報告している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加した職員は、復命書を作成し定例の職場内研修の時に復命している。また、職員がテーマを決めて発表を行い、自己研さんにも努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム連絡協議会の研修、勉強会等に定期的に参加している。また、他のグループホームを見学するなどし、交流を行いそのこと等を通じ、サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学してもらい説明を行い、納得した上で利用してもらっている。また、体験入居も利用できる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が介護するばかりではなく、日常生活の中で、梅干作り、ねぎの栽培、茶碗の洗い方など利用者から学ぶこともあり、お互い支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	買い物、習字、カラオケ、入浴など希望や意向があるときは、利用者本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画書は、一部職員で検討されている。家族に意見等を聴いてはいるが、計画書の中に記載がされていない。	○	介護計画書は全職員で検討し、家族の意見等を取り入れたものも記載して作り上げてほしい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しと毎月モニタリングを行い、状態に変化があれば家族の意見等を聴き、現状に即した介護計画作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理・美容は、利用者の行きつけの所に職員が連れていき対応している。また、受診についても家族が対応できない場合、ホームで柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に応じた掛かかりつけ医となっている。また、協力医による2週間に1回の往診も行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期について、本人、家族と話し合いを行っている。しかし、ホームの対応方針がはっきり決まっていない。	○	重度化や終末期について、ホームの対応方針を定め本人、家族に伝えてほしい。また、意思確認書を作成し職員全員で方針を共有してほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけ、言葉遣いなどプライバシーに配慮した対応が行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は決まっているが、食事、買い物、入浴時間など本人のペースを大切に、希望に沿って柔軟に対応している。		

宮崎県宮崎市 グループホームあおき園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皮むき、台ふき、茶碗洗いなど利用者のできることを職員が支援している。また、職員が同じものを食べて食事介助も行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回であるが、失禁などの時はそのつど入浴を行っている。また、足浴も行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の役割、楽しみごとを生かし、草むしり、花植え、カラオケ、洗濯ものたたみ、編み物などを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望により、買い物やドライブ、近所の公園や散歩等の支援を行っている。また、お花見等の季節の外出も行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることのへい害を理解しており、日中鍵はかけていない。利用者が外出しそうなときは付き添っている。		

宮崎県宮崎市 グループホームあおき園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回職員、利用者が参加して避難訓練を行っている。しかし、地元消防団、近隣住民の参加までには至っていない。	○	避難訓練には、地元消防団、近隣住民にも声をかけ協力が得られるようにしてほしい。また、ミニ訓練を計画し、毎月実行してほしい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事、水分をチェック表に記録しており、職員は情報を共有して対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓が食堂、廊下、脱衣場にあり、心地よい明るさがある。また、テーブルには季節の花が飾られ、居心地良く過ごせる配慮がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋にはテレビ、仏壇、家族の写真などが持込まれている。家族の来訪時には、なじみの物を持って来てほしいと働きかけている。		

※  は、重点項目。